

# 四月の手技材料

目白幼稚園 和田 實

例に因つて、四月から五月に亘る手技材料に就いて考へて見ませう。ところで、四月五月は自然に恵まれた月ですから、手技材料も成る可くは此方面から取りたいと思ひます。散歩、摘草、潮干

狩、遠足、等の獲物が、當然、手技の材料となる可きであります。尤も、自然物を材料とすることは何も此時期に限るものではありません。春、夏、秋、冬を通じて、出来る限り自然物を採用す可きであります。永き冬の閉ぢ籠りから脱して、大自然の中に蘇へる様な心地して居る時に、此自然の快味を味はせる手段として、自然物を利用して

遊ばせると云ふことは最も時の宜しきを得たものと云はねばなりません。議論は先づ此位にして置いて、偕て、手技の實際は如何に？。先づ、郊外散歩遠足の獲物から考へませう。

散歩遠足の獲物、散歩や遠足の獲物としては土筆、もち草、よめな、れんげ草、すみれ、たんぽぽ、櫻草、等の草花又は梅、桃、櫻、ぼけ等の木の花、さては筍、ぜんまい、ふきのとう、などの芽生物であります。今是等の自然物は如何に手技材料となるかを考へて見ませう。

土筆、は子供の最も悦ぶ採集物です。其穂の堅

いは人形の首として面白いことは從來、よく行はれたものであります。色々の色紙や千代紙や散り紙などを興へて色々の人形を數多造らせるのも興があります。次には粘土で鉢を造つて、之に土筆を植えても面白いものです。或は砂箱の様なものに、山か、野邊の様子を作らへて、よめなやもち草と一所に、適宜に植えて、子供自身が採集して來た其場所を模造させても面白いでせう。又、砂場や砂箱でなくとも、机上で圖畫紙のクレオン

で、野邊の様子を書いて、之に土筆、よめな、などを適宜に、糊ではり付けさせても面白いものが出來ます。此時、もし、土筆などが基が太くて、紙の上に、甘く落ち付かなかつたら、一度新聞紙か淺草紙の間で押しつぶして、植物標本の様なものをこしらへて、それから、前述の様に使ふとうまく行きます。是は中々面白いものです。背景中の森や山や木の茂つた様などに、草の葉や、莖など

を利用して行くことも出來ます。殊に、色のある「花びら」などは色々に利用して糊付にすると風景中の家や、人や、木や、山など面白、表はすことが出來ます。菜の花、桃の花、櫻の花、など花辨は最も利用するに便利です。

すみれの花、では相撲探りと稱して、花の突起部同志をからみ合して引張りつこして花を花托の處から取りつこする遊びがありますが、餘り感心しません。何故と云ふに、有り餘る程にはない花で、寧ろ貴重部に屬するものですから、今少し有利な方法で遊ばせたいと思ひます。是も、前記のつくしなどの様に圖畫紙の上に押し付け糊付にして鉢の様なものを書き添へると逆もよい繪が出來上ります。又、散歩して居る現場で、是をこしらへて、其場から其日遠足に來られなかつた人とか或は姉さんとか母さんとかに郵便で出すなどしたらば何んなに面白いか知れません。郵便にするには

造つたものを其儘封筒に入れる様にしてもよし、或は始めから「繪はかき」にこしらへて、途中ではがれ落ちぬ様に、バラフヒン紙で、上張をしてもよいと思ひます。此場合料金は三錢出さねばならぬのかも知れませんが、此繪はがきはまだ實行して見たことがありますから、料金の處が不案内です。封筒の方は別に不審もありません。よく

實行することです。また別の方法は、他の可憐な小さい花と一所にして小さい花束をこしらへて、花屋がする様に紙でラツパ形に包んで家包にしてよし、友達への贈物を造つても至極よい温情的な親愛味たつぷりな土産物が出来ます。

れんげ草、は澤山にあるものですから、薬玉を造るとよい御土産が出来ます。其方法は澤山採り集めた花の莖を寄せて、花の頭だけを玉の形になる様に澤山集めて糸で、くゝつて結へる。此時其結へる處から花玉の中心を通して上の方に吊り下

げる糸口を出し、下の方へは飾りの尾（色紙を細長く切つたものか、或は色糸か）をつけることを忘れぬ様にする。優美な御土産が出来ます。其外、花輪、花紐、などは普通によく造ることですから、茲に書く程のこともないでせう。

たんぼ、是も、餘り豊富にあると云ふものでもありませんから、餘り數を使はないで出来るものが宜しいでせう。夫れには花を探る時に花の莖實は花の莖を一所に採つて、其中空な莖の中から花の中心を通じて「ひご竹」を通し之を重ねて行くときれいな花輪か花紐が出来ます。

ヒゴ竹の代りに少し長い針を使つて糸でしてもよいでせうが此場合には花の莖を短くしなければなりませんから、従つて花の數が多く入要になります。たんぼの葉の形は一寸外のものとなつて居るので、是は何とかして子供の注意を牽いてやりたいと思ひます。夫れには圖畫紙へ貼り付ける

遊を工夫するがよいと思ひます。是は無論採集現場の遊でなく、歸つてからの遊びでよいでせう。葉が少し萎れても一向差支ありません。却つて糊付には少し萎れた方が便利であります。

梅、桃、櫻の花、花の全形を其儘使ふものとしては、花輪が花紐でせうが押し花、も面白いでせう。色のある羅紗紙を台にして、貼り付けるときに出来ます。又、花の全體でなくとも、花びらの一つ一つを材料にして色々の貼り付け細工が出来ます。數のトランプ即ち「數象かるた」を造つても宜しいでせう。所謂、營生式模造物を造つても宜しいでせう。又、是等の木の葉も面白い細工の材料となりますが、少し時期が早いのでまだ使へないでせう。それから、花輪や花紐を造るにはヒョ竹か又は針と糸とを要するでせう。そして麥藁を一寸位に切つたものを間に挟むと見えがします。

筍細工、筍は春の自然物細工としては最も面白いものであります。是に使ふ筍としては眞竹の子が太過ぎないで適當です。徑一寸位の所が一番使い頃です。皮をむいて眞を出し、之を適當に切つて桶、鉢、ひしやく、の類が雜作なく出来ます。また、大きい太い猛操竹の子、即ち普通の食用筍ではまゝごと用の盆皿其他色々出来ますが、是は少しもつたいないでせう。筍の皮はまゝごとこの材料か人形の着物になります。

笹の巻き葉。之は簀の子草履龜の子、などを編むのに都合のよいものであります。子供に造らせるとしては少し六ヶしいので、多くは先生が造つて遣る遊びになります。夫れでも結好だと思ひます。先生が手際よく細工する所を見せて居るだけでも、随分、子供には面白いものであります。

郊外の「まゝごと遊び」春の郊外で、まゝごと

遊びに興じさせる程、教育的な遊びが、またとありませうか、まゝごとするに要する道具即ち皿、鉢、碗の類を工夫することから始めて食料品の製造、夫れに要する種々の材料の蒐集、お客様の接待、儀禮等々を紫外光線の満ちた青天井の下で蝶の舞ひ遊び、かげろふの燃ゆる中で清き酸素に富んだ空氣を吸ひながら和やかに朗かに愉快に満ち々々て遊ぶ。之を體育の方面から見ても德育の方面から見ても偕ては智能教育の方面から見ても何處に不足がありませうか。幼稚園は出来るだけ此方面に活動して欲しいものであります。たとへ、智能方面の利益が全くないとしても、體育的に徳育的に頗る有益なものであります。其上智能的に最も大事な活動と云はれる蒐集、工夫の二大活動が行はれるのですから、教育者としては此時此遊びを閑却する様なことをしては其職責上濟まぬことになると思ひます。

潮干狩の獲物 潮干狩の獲物で細工の材料となるのは貝殻の利用と海草及砂の利用でせう。小さい貝殻はおはぢき遊びの材料となります。櫻貝の様なもののは貼り付け細工の材料となります。砂も貝殻の細くなつたものや普通の眞砂や色々異つた様子があるので貼り付（糊で貼り付ける）材料になります。二枚貝は布片又は縮緬紙の様なものに包むと面白い香入が出来ます。少し大きいのは柄を付けて小さな「ひしやく」が出来ます。蛤の大きいものになると實用的なものが出来ます。海草はまゝごと材料として適當です。砂は持つて歸つて砂箱を造る可しであります。かに、やどかり、えび等は觀察には好適な材料でせうが、手技材料には縁が遠い様です。併し、是等の觀察を繰り返し遊びす手段として、是が生物を材料として、夫れの住居を造つて遣ると云ふことは又面白い工夫遊びでせう。やどかりの住居は？ かにやえびのお

宿は？と云ふ様に箱庭的なものを造るとしても相當遊ぶことが出来るでせう。池を造り岩を置き砂や海草をあしらつて、潮干狩の場面を机上や家の庭に再現することは決して悪くない遊びであります。

次に、少し大きい子供の遊びとしてはあはびやあこや貝（眞珠貝）の様な中側の美しい貝殻を更に砥石に掛けて外側のあらき、きたない部分を磨り耗らして眞珠質の美しい部分だけを薄く研ぎ出して之を色々の形に台紙の上に帖るなども面白いものですが、工程が少し永く掛るのと仕事が少し高等なので、小さい子には適さないかも知れませんが、併し、少し大きい子供でしたら悦ぶことは必定です。

以上で、摘み草と潮干狩の獲物を利用する手技を終つて置ませう。讀者諸君に何か面白い御考察があつたら御報告を得たいものであります。

### 東京市尾久に出來た

#### 「父子ホーム」

幼な子等と共に残された母親がある、同様に乳呑み子を抱へて働きにも出られず困つてゐる父親がある。前者に母子ホームが設けられてあるにならひ、今回、東京府社會事業協會によつて、東京尾久隣保館附近に「父子ホーム」が新設された。これは父親が仕事に出かける朝六時頃子供を集めに廻り、託兒所で食事の世話から面倒な身の廻りの世話まで引き受け、夕方父親のもとに返して父子に家庭生活を楽しませうといふ計畫で、父親によき配偶者が出来る迄は收容すると。